

BOX OFFICE

地域に内在し世界を構想する JCAS Review

地域研究 Vol. 13 No. 2

総特集

混成アジア映画の海 時代と世界を映す鏡

山本博之／白杵陽／石坂健治／杉野希妃／劉文兵／西村正男／深尾淳一／及川茜／野澤喜美子／篠崎香織
西芳実／夏目深雪／李建志／門間貴志／下野寿子／加藤浩志／谷垣真理子／木村理子／坂川直也／岡田知子
平松秀樹／宮脇聡史／長田紀之／南出和余／前田知里／伊藤敏朗／岡光信子／山下博司／林明／村山和之
帯谷知可／藤本透子／岡田晃枝／長沢栄治／鈴木均／錦田愛子／田浪亜央江／佐野光子／澤井一彰

第二回地域研究コンソーシアム賞 受賞者発表

●地域研究コンソーシアム / JAPAN CONSORTIUM FOR AREA STUDIES



〔総特集〕
混成アジア映画の海
時代と世界を映す鏡

〔総特集にあたって〕混成アジア映画の海——時代と世界を映す鏡

山本博之

008

〔座談会〕混迷化する世界、複層化する映像表現

白杵陽・石坂健治
杉野希妃・山本博之（司会）

023

【第一部】アジアの「映画大国」を襲うグローバルな波

中国映画におけるグローバル化の軌跡

劉文兵

048

香港映画史再考——言語の視角から

西村正男

066

グローバル化とインド映画産業——インタビュー調査を通して

深尾淳一

088

映画に観るエクソフォニー——二〇〇〇—二〇一〇年の日本映画をめぐる

及川茜

108

【第二部】混成のうねり——東南アジア映画の新たな冒険

「第11部にあたって」フロンティアとしての混成社会

——東南アジア映画の舞台設定

山本博之

128

病と不自由な身体——自由を渴望する映畫人・蔡明亮

野澤喜美子

133

継承と成功——東南アジア華人の「家」づくり

篠崎香織

149

信仰と共生——バリ島爆発テロ事件以降のインドネシアの自画像

西芳実

176

混成社会における約束——ヤスミン・アフマド作品の魅力

山本博之

201

【第III部】映画に見るアジアのナショナル리티の揺らぎ

「日本」彼らとわたしたちの曖昧な境界

及川 茜

228

「日本」混成アジア映画としての日本映画

夏目深雪

233

「韓国」映画の中の北朝鮮表象から見えてくるもの

李 建志

238

「北朝鮮」人民大衆の娯楽としてのサーカスと映画

門間貴志

244

「中国」改革開放を生き抜く人々

下野寿子

249

「台湾」銀幕に多様な社会を描きだす

加藤浩志

254

「香港」『浮城』に見る返還後の香港

谷垣真理子

262

「モンゴル」大衆的プロパガンダと「現実の社会」

木村理子

267

「ベトナム」革命イデオロギーから夢と笑いへ——B級映画都市サイゴンの復活

坂川直也

276

「カンボジア」都市の混沌と錯綜する想い

岡田知子

282

「タイ」新しいヒロイン像——日本・韓国表象とともに

平松秀樹

289

「フィリピン」片隅に置かれた人びとの歩みを刻み、声を響かせる

宮脇聡史

299

「インドネシア」世界にさらされる小さな英雄たち

西 芳実

304

「マレーシア」映像を通じた「本物のアジア」の模索

山本博之

313

「シンガポール」「成功」を支えるさまざまな思いを掘り探る

篠崎香織

323

「ミャンマー」客体から主体へ——ミャンマー映画の再生

長田紀之

329

「バングラデシュ」シネコンに集う「ベンガラムスリム」

南出和余

335

「ブータン」幸せの国ブータンの暮らしと人生観に見る幸せの秘訣

前田知里

342

「ネパール」インド映画からの脱却を目指すネパリー・チャルチットラ……………伊藤敏朗 348

「インド」グローバル化のなかで変容する社会

——混成化・越境・均質化……………岡光信子・山下博司 359

「スリランカ」世界遺産がひしめく美しい島に静かに眠る人々の苦しみ……………林 明 368

「パキスタン」スンナ派とシーア派を繋ぐ糸縁——イスラーム社会の声を聞く……………村山和之 375

「ウズベキスタン」中央アジア近現代史に思いをはせながら……………帯谷知可 381

「カザフスタン」交錯する視点——カザフ社会の内外から伝統と現代を問う……………藤本透子 387

「タジキスタン」ロシアへの複雑な思い……………岡田晃枝 393

「エジプト」革命とセクハラ——エジプト映画『678』をめぐって……………長沢栄治 399

「イラン」イラン映画のアイデンティクライシス……………鈴木 均 404

「パレスチナ」終わらない現実としてのパレスチナ……………錦田愛子 410

「イスラエル」孤立した社会から生み出される自己省察……………田浪亜央江 416

「レバノン」幻影としての外からの脅威……………佐野光子 423

「シリア」革命と表現の自由・不自由……………佐野光子 428

「トルコ」『征服一四五三』とトルコにおける「オスマン帝国イメージ」の変化……………澤井一彰 433

第二回地域研究コンソーシアム賞 受賞者発表

『地域研究』一二巻二号 特集へのコメント

混成アジア映画の海

時代と世界を映す鏡

私たちはアジア映画に何を期待し、そこから何を
得るのか。ヒト・モノ・情報の交流が活発化し、
アジア諸地域の多様性がかつてないほど実感され
る今日、映画の持つ、異なるものを混交させ結び
直す力に注目しながら、地域の今を生きる人々の
姿に迫り、そこに現れる世界の課題を読み解く。

第一部

アジアの「映画大国」を襲う グローバルな波

豊かな国内市場を背景に独自の映画産業を発展させてきたアジアの「映画大国」はグローバル化の波をどう受け止めているか。アジアの価値を世界に発信してきた「映画大国」の新たな戦略や工夫を探る。

第II部

混成のおねり

——東南アジア映画の新たな冒険

中華、イスラム、西洋といった世界文明が混在する東南アジアに生きる人々は、異文化と隣り合わせの日常をどのように捉え描くのか。異なる規範や文化の挑戦に日々晒されてきた人々の生きざまに学ぶ。

第三部

映画に見るアジアの ナシヨナリテイの揺らぎ

自立と発展をめざしてきたアジア諸国では、人々の生活の場が国境の外へ拡がると同時に、社会内部の多様性が露わになりつつある。誰もが撮り撮られる時代になって映画は誰のものか。アジアの国々の自画像と他者像の揺らぎを映画はどのように映すのか。

第三回(二〇一三年度)地域研究コンソーシアム賞 募集要項

趣旨

地域研究コンソーシアムは、その規約において「国家や地域を横断する学際的な地域研究を推進するとともに、その基盤としての地域研究関連諸組織を連携する研究実施・支援体制を構築することを目的とする。これにより、人文・社会科学系および自然科学系の諸学問を統合する新たな知の営みとしての地域研究のさらなる進展を図る」と述べ、それに続いて、一、共同研究の企画・実施・支援、二、海外研究拠点の設置運営と国際的な共同研究・臨地研究の企画・実施、三、研究成果の国内外への発信・出版、四、地域研究情報の相互活用・共有化と公開という具体的目標を掲げている。

地域研究コンソーシアム賞は、上記の目標を達成する上で大きな貢献のあった研究業績、共同研究企画、そして社会連携活動を広く顕彰することを目的として授与される。

顕彰部門

一、地域研究コンソーシアム研究作品賞……個人ないし共同による学術研究業績で、賞の趣旨に合致する公刊論文ないし図書の商品を対象とする。

二、地域研究コンソーシアム登竜賞……大学院生及び最終学歴修了後一〇年程度以内を目安とする研究者による学

術研究業績で、賞の趣旨に合致する公刊論文ないし図書の商品を対象とする。

三、地域研究コンソーシアム研究企画賞……共同研究企画で、賞の趣旨に合致し、今後の地域研究の動向に対して大きなインパクトを与えたシンポジウムの開催や研究プロジェクトの遂行などの企画を対象とする。

四、地域研究コンソーシアム社会連携賞……学術研究以外の分野で賞の趣旨に合致する活動実績を対象とする。

推薦

地域研究コンソーシアム賞は自薦ないし他薦をもとに選考される。

推薦者は個人に限る。また、推薦書の記載は日本語に限る。推薦者は複数の作品、企画、活動を推薦できるが、同一の作品、企画、活動を複数の部門に重複して推薦することはできない。また、一人の個人または一つの組織について推薦できるのは原則として一つの作品、企画、活動とする。推薦書の様式はとくに定めないが、以下の各項目を記入すること。

- ① 推薦者の氏名、所属・職名、主な経歴・研究活動業績
- ② 推薦部門（研究作品賞・登竜賞・研究企画賞・社会連携賞のいずれか）

③ 推薦対象の作品・企画・活動の概要……作品の場合は書誌情報と概要、企画の場合は企画の名称と概要、活動の場合は活動の名称と概要。いずれも一〇〇〇字以内(図表等を入る場合、図表等は一〇〇〇字に含めない)。研究作品賞と登竜賞で推薦対象が論文である場合は写しを一部添えること。研究企画賞と社会連携賞への応募では、企画や活動に係わる資料を添付してよい。

④ 推薦理由……一〇〇〇字以内。地域研究コンソーシアム賞の顕彰目的を踏まえた推薦理由。

⑤ 推薦対象と推薦者の関係……他薦の場合は推薦者と推薦対象(者)との関係を明記(とくに、推薦対象の著者ないし代表者と推薦者が親族関係ないし師弟関係にある場合は、その関係の明記)

各部門の推薦対象は以下の通りとする。

一、研究作品賞……前年度(二〇一一年度)及び前々年度(二〇一〇年度)に公開された論文ないし図書の作品を推薦の対象とする。推薦された作品の中から研究作品賞を授与する。

二、登竜賞……大学院生及び最終学歴修了後一〇年程度以内を目安とする研究者によって前年度(二〇一一年度)及び前々年度(二〇一〇年度)に公開された論文ないし図書の作品を推薦の対象とする(「登竜賞」の選考対象には博士論文も含まれる)。推薦された作品の中から登竜賞を授与する。

三、研究企画賞……前年度(二〇一一年度)及び前々年度(二〇一〇年度)に実施された共同研究企画の実績を推薦の対象とする。推薦された企画の中から研究企画賞を授与する。

四、社会連携賞……前年度(二〇一一年度)ないしそれ以前から行われてきた研究以外の活動で、地域研究の発展に寄与する実績を推薦の対象とする。推薦された活動実績の中から社会連携賞を授与する。

選考

審査委員会は地域研究コンソーシアムの委嘱を受けた五名程度の専門家で構成される。

審査委員

家田修、飯塚正人、田中耕司、中村安秀、毛里和子(敬称略、五十音順)

顕彰

一、年次集会で授賞式を行い、審査委員会による講評、会長による賞状の授与、受賞者による受賞スピーチを行う。
二、『地域研究』誌上で審査講評と受賞対象の概要を掲載する。図書が受賞対象となった場合は書評として掲載することもありうる。

三、地域研究コンソーシアム・ホームページに審査講評と受賞対象の概要を掲載する。

募集

応募締切……二〇一三年五月七日(必着)

〔表紙写真〕

一、上映開始を待つ二人。マレーシアのクアララ
ンプール市内ミッドバレーにあるゴールデンスク
リーンシネマ社のシネマコンプレックスはマレー
シア最多の一八スクリーンを擁する。

(二〇一三年一月八日、西芳実撮影)

二、マレーシアの映像製作会社レッドコミュニケー
ションズ(一九九九年創業)の事務所に展示されて
いた八ミリ映写機。ブラウン管テレビ、タイブラ
イターとともに陳列されていた。

(二〇一三年二月六日、西芳実撮影)

〔凡例〕

邦題、①原題、②監督名、③制作年、④制作国、
⑤使用言語、⑥日本での公開。

※邦題は日本公開時のタイトル。日本で未公開の
ものは原題の日本語訳を記した。原題の日本語訳
が邦題と異なる場合は括弧に入れて日本語訳を示
した(ただし英語タイトルは除く)。

『地域研究』刊行にあたって

グローバル化の進む今日、世界の各地は緊密に連関し、また共通の課題に直面しています。その変化や課題が展開されているのは、人々の生きる現場である「地域」です。『地域研究』は、地域の総体的理解を目指す地域研究のフォーラム誌として、世界各地を対象とする多様な研究を結び、地域の視点から問題を提起し、「地域から世界を考える」ことを目標に刊行されます。

『地域研究』は、地域研究にかかわる全国の研究教育機関、研究プロジェクト、学会、市民組織や国際機関などが参加する地域研究コンソーシアム（JCAS）に編集委員会をおき、多様な研究対象地域やアプローチをもつ研究者が協力して編集しています。年2回の刊行はJCAS事務局を担当する京都大学地域研究統合情報センターが行っています。

投稿のご案内

『地域研究』では、特集企画案および個別論文を公募しています。特集企画案は編集委員会で検討し採否を決定します。個別論文は、査読を経たのち、編集委員会で採否を決定します。公募要領および執筆要項などの詳細は、地域研究コンソーシアムのホームページ (<http://www.jcas.jp>) に掲載しています。また刊行担当 (journal@cias.kyoto-u.ac.jp) にメールにてご相談いただくこともできます。

地域に立脚した視点から広く「世界」を考える企画・論考を歓迎します。ふるってご応募ください。

『地域研究』編集委員会 (2013年3月現在)

白杵 陽	日本女子大学文学部 (委員長)
猪口 孝	新潟県立大学
小森宏美	早稲田大学教育・総合科学学術院
篠崎香織	北九州市立大学外国語学部
西 芳実	京都大学地域研究統合情報センター (刊行担当)
柳澤雅之	京都大学地域研究統合情報センター
山本博之	京都大学地域研究統合情報センター

編集後記

映画を用いて「地域のいま」を捉えるという本企画に、「映画を専門にしていなくてもいいけど」といいながら多くの地域研究者が執筆を引き受けてくれました。その範囲は東は日本から西はトルコ、エジプトまで31の国・地域に及びます。デジタル化技術の進展でDVD販売やインターネット配信が容易になったこともあり、アジア映画に触れる機会は格段に増えています。地域の視点で映画を愉しんできた地域研究者の経験がアジア映画の愉しみ方をさらに拡げるきっかけとなることを願っています。

(刊行担当 西 芳実)

地域研究 Vol.13 No.2

初版発行	2013年3月29日
編集	地域研究コンソーシアム『地域研究』編集委員会
発行	京都大学地域研究統合情報センター 〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46 journal@cias.kyoto-u.ac.jp http://www.cias.kyoto-u.ac.jp
制作・発売	株式会社 昭和堂 〒606-8224 京都市左京区北白川京大農学部前 電話075-706-8818 / FAX 075-706-8878 振替01060-5-9347 http://www.showado-kyoto.jp/

印刷 亜細亜印刷

©地域研究コンソーシアム『地域研究』編集委員会 2013

Printed in Japan

ISSN 1349-5038

ISBN978-4-8122-1303-2